

【下水道部】

下水道部の方針・目標（平成22年度）

1. 下水道部の方針

◆下水道施設整備を促進し、普及率の向上に努めるとともに、施設の維持管理や更新などを計画的に行い、生活環境の改善や公共用水域の水質保全に努める。
◆企業会計の経営健全化に向けて、収納率や有収率の向上など歳入の確保を図るとともに、計画的な事業実施やコスト削減などを行い、効率的な事業運営に努める。

2. 下水道部の重点課題

22年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容
下水道事業の法適化等の検討	特定環境保全公共下水道事業の地方公営企業法適用化と下水道使用料の見直しについて、必要性の是非、方向性について素案を策定する。
下水道整備の推進	玄海地域の下水道整備を計画的に推進するとともに、普及率向上に努める。
雨水排水対策事業の推進	赤間駅周辺や田久地区の浸水被害を解消するため、平成17年度に設立された「田久地区浸水対策連絡協議会」を中心に、関係機関と連携しながら下水道事業として整備を推進する。
終末処理場の改築更新事業の推進	公共用水域の水質保全のため、老朽化した終末処理場の処理施設を計画的に改築更新するとともに、全量高度処理化を推進する。
健全な財政運営の推進	健全な財政運営を維持するため、財政健全化計画等に基づく施設等の適正な維持管理及び合理化を図る。

3. 下水道部の経営資源

職員数	部長1人 下水道課10人 下水道部職員計11人(うち常勤・非常勤嘱託職員・再任用職員0人) 職員比率(正規職員) 2.6%(下水道部11人/市職員430人)
予算規模 (平成22年度)	<ul style="list-style-type: none"> 一般会計 11,103千円 下水道事業会計 収入 2,704,371千円 支出 3,173,886千円 特定環境保全等下水道事業特別会計 608,121千円

4. 下水道部の目標

施策名	汚水の適正処理							
将来像	生活排水を適正に処理し、水環境が保全されています							
推進方針	<ul style="list-style-type: none"> 特定環境保全公共下水道事業の法適化と下水道使用料の見直しについて、必要性等の検討を行う。 玄海地域の下水道整備を計画的に実施する。年度末現在の整備率目標を86%とし、普及率の向上に努める。 宗像終末処理場の改築・更新を推進する。 健全な財政運営の推進のため、歳入の確保、経費の削減及び投資的費用の縮減に努める。 							
指標	指標名(単位)	H22	H23	H24	H25	主な事業	事業名	予算額
	汚水衛生処理率(%)	97.7	98.2	98.6	98.8		合併処理浄化槽整備事業費(4-2-4)	11,103千円
施策名	防災・危機管理体制の強化							
将来像	災害に強いまち							
推進方針	赤間駅周辺や田久地区の浸水被害を軽減するため、平成19年度から実施している田久地区雨水排水対策事業を完了させる。							
指標	指標名(単位)	H22	H23	H24	H25	主な事業	事業名	予算額
	災害への備えをしている市民の割合(%)	23.5	25.1	26.8	28.4			
	自主防災組織の設立割合(%)	26.8	45.1	63.4	81.7			